

バングラデシュ：不当拘束の記者が自由に！



Photojournalist Shafiqul Islam Kajol is greeted by his son Monorom Polok after coming out of Dhaka Central Jail on Friday, December 25, 2020. Collected

性的人身売買に議員の関与を指摘して誹謗中傷罪などに問われた編集者でフォトジャーナリストのシャフィクル・イスラム・カジョルさんが昨年末、釈放されました。

シャフィクルさんは、高級ホテルを舞台にした人権侵害に議員が関わっていることをフェイスブックに投稿したのです。その後、当局の取り締まりの対象になったのは、人身売買に関わった議員ではなく、人身売買を告発したシャフィクルさんでした。議員らから誹謗中傷罪で告訴されたのです。

昨年3月に行方不明になり、5月に警察に「発見」され、その後、正式に逮捕されました。しかし、捜査は進まず、起訴されないまま長期間、拘束されたのは、国際法では決して認められない不当な扱いでした。

国際統計によると、バングラデシュには、囚人を含む被拘禁者約9万人がいますが、その80パーセントが判決が出る前の未決拘禁者です。いたずらに長期間、拘束されている人がいかに多いかを示しています。

ギニア：釈放された活動家から「ありがとう」

暴行、脅迫、侮辱の罪で収監されていた民主活動家のサイコウ・ヤヤ・ディアロさんが昨年12月初旬、釈放されました。

市民団体「憲法擁護国民戦線」で法務を担当するサイコウさんは昨年3月、デモ隊と治安当局が衝突した際、見物

人の避難させる行動を取りました。ところが、暴力行為に参加したとして拘束され、7カ月間も拘置されたのです。



© Private Saikou post-release with his wife, for campaigning only

釈放後、サイコウさんからアムネスティに感謝のメッセージが届きました。「不当な拘束からの釈放を訴えてくれてありがとう。心から感謝します。私にとって、アムネスティは、個人の権利と自由の回復に最も取り組んでいる人権団体です」

トーゴ：政治活動家が釈放されました！



もう一つ嬉しいニュースです。政治活動家のブリジット・カファイ・アジャマグボさんとジェラード・ヤオビ・ジョソウさんが、昨年末に釈放されました。2人

は、昨年2月の大統領選挙戦での不正疑惑をめぐり、政府を厳しく批判していました。昨年11月、治安当局による弾圧が強まる中で逮捕され、共同謀議と治安棄損の容疑で取調べを受けていました。

釈放後、2人から感謝の声が届きました。「心より感謝します。アムネスティの活動が影響力があることは知っていましたから、収監中、アムネスティが支援してくれていることを家族から知らされた時は勇気をもらいました」

釈放されたとはいえ、2人は今も当局の監視下に置かれています。治安当局の弾圧姿勢も変わりません。アムネスティは、引き続き当局の動きを注視していきます。

アルゼンチン：議会の快挙 中絶を合法化



アルゼンチンで妊娠中絶が合法化されました。昨年12月末、国民議会の上院が、妊娠14週目までの人工妊娠中絶を認める法案を可決したのです。

フェルナンデス大統領が昨年11月中旬、公約通り議会に妊娠中絶法案を提出してから1カ月半、法案は、下院と上院の審議を無事、通過しました。アルゼンチンの厳格な中絶禁止法の改正を求める国内外の運動が、大統領と議会の動かし、中絶を認める法案を可決に導いたと言えます。議会の快挙であり、中絶の権利を求めて数十年間も運動してきたアルゼンチンの人たちの勝利です。同法の成立により、望めば一定の条件の下で合法的で安全な中絶手術を受けられるようになりました。

アムネスティは今後、中絶を希望する人たちが、合法的に安全な手術を受けられるかどうかを注視していきます。

エジプト：人権 NGO 幹部らが釈放されました！

人権 NGO「個人の権利のためのエジプト・イニシアチブ」の幹部職員3人が昨年12月初旬、釈放されました。

昨年11月初旬、ガサール・アブデル・レゼックさん、カリム・エナラさん、ムハンマド・バシヤールさんの3人は、数カ国の外交官らを事務所に招き、エジプトの人権状況に

ついて対話する機会を設けました。その後、拘束され、事実無根のテロ行為などの容疑で取調べを受けていました。

アムネスティは、エジプト内外の活動家や NGO、政治家、国際機関などに3人の釈放を訴える運動を展開しました。この呼びかけに応える形で、欧州や北米諸国、国連などが、エジプト当局に3人の釈放を求めました。今回の釈放は、アムネスティの呼びかけに世界が呼応した結果でしょう。

ただ、エジプト当局による人権団体への圧力は、今も続いています。多数の人権活動家が、表現の自由の権利を行使して勾留されています。今回の釈放された団体幹部を含め活動家の多くは、国外への移動が禁止され、資産を凍結されています。従って、これからもエジプトの人権状況を監視する必要があります。

ベネズエラ：医療 NGO 職員 5 人を釈放して！

ベネズエラ西部スリア州に拠点を置く医療・人道 NGO アスール・ポシティボの職員5人が、資金洗浄などのでっち上げの容疑で逮捕されました。市民多数が国外に脱出するほど国内が人道的危機にある中、政府は、市民を支援する団体を敵視し、汚名を着せようとしています。

アスール・ポシティボは20年近く、HIVの予防、性の健康などの問題に取り組んできました。昨今は、新型コロナウイルス感染対策に有効なマスクの種類やその使用法の啓蒙にも取り組んでいます。これらの活動は、社会から高く評価され、アスール・ポシティボは、市民にとって不可欠な団体になっています。

当局は、直ちに5人の容疑を取り消し、釈放すべきです。ツイッターでマドゥロ大統領 (@NicolasMaduro) に5人の即時釈放を求めてください。

I call upon you to ensure the immediate and unconditional release of all the staff of Azul Positivo and to end the harassment, prosecution, and censorship of all civil society organizations working to protect the rights of all Venezuelans.

ぜひご協力ください。よろしく願いいたします。

UA ニュース

発行:アムネスティ・インターナショナル日本

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-12-14 晴花ビル 7F

TEL:03-3518-6777 FAX:03-3518-6778

E-mail: uaoffice@amnesty.or.jp

UA 年会費:3000円

郵便振替:00120-9-133251

加入者名:公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本